

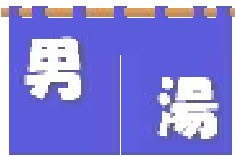
# 地域住民のみなさんへ



前号からはじめた私たちの17年間の取り組みの第2回目は、「相馬ハウス」です。

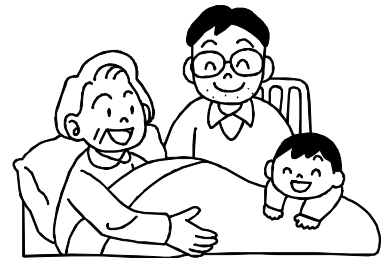
相馬ハウスとは、みなさんもよくご存知の元恵方温泉にある施設です。ここを拠点にしてどのような活動をしているのかをご紹介します。

## 相馬ハウス(恵方町2-5)の紹介



平成13年、地域の福祉活動の拠点として、元恵方温泉に身体障害者通所小規模作業所びあ名古屋、車いすセンター・同レンタル事業部、障害者110番、複数の障害者団体(愛知県重度障害者の生活をよくする会、愛知県重度障害者団体連絡協議会、アジア障害者支援プロジェクト、愛知県ハンディキャップ連絡会)そして、障害者ヘルパーステーションと共に移転し現在に至ります。

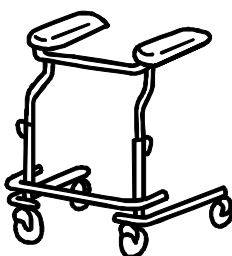
## ピア名古屋



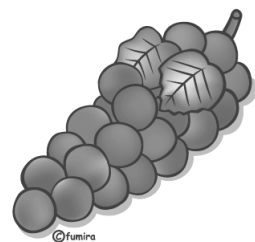
恵方町教会に隣接するAJU自立の家福祉ホームサマリアハウスで、4年間の自立生活の勉強と体験を経て、地域で自立

生活を始めた人たちの働く場として、平成9年身体障害者通所小規模作業所「びあ名古屋」が誕生しました。四肢麻痺と重い言語障害をもつ人たちに、よく知られているクッキー作りやパン作り、箸の袋詰めやプラスチックのバリ取りのような手作業はできません。それよりも、持てる経験を活かして、福祉用具(車いす・電動車いす・ベッド・杖・紙オムツなど)のカタログ通信販売という新しい取り組みをしました。今では、障害児から高齢者まで幅広くご利用いただける福祉用具販売店になりました。

バブル景気後、一般雇用されていた知的に障害のある人たちが解雇されるケースが増え、居場所を失ったり、養護学校を卒業しても行き場所のない多くの人たちが職を求め、生き甲斐を求めていました。そんなニーズに応えるために、名古屋市と協議し、平成15年10月に知的障害者通所授産施設『ピア名古屋』として生まれ変わり、知的、精神、身体の三障害が共に働ける場所として再スタートしました。



知的に障害のある人たちは、多治見にある修道院の葡萄畑をお借りして、葡萄作りを主な作業としています。また、その葡萄を使ったワイン造りの手伝いやワインボトルのラベル貼りなども自分たちの仕事です。毎日、1時間余をかけて作業に出かけています。1年を通して肥料の散布、害虫駆除、剪定、収穫と葡萄の栽培を手がけ、今では多くの方に美味しいと言っただけのワインが生まれるようになりました。まだまだ本数は多くありませんが知的に障害のある人たちの働く場として、仲間と共に皆様に喜んでいただけるワインづくりを目指しています。



また、午後からは、コーヒーコーナーを開き、地域のお年寄りや障害をもつ人たちなど誰にでも来ていただける場所として開放しています。障害の特性上、こだわりの強い方が入れるコーヒーは、豆から挽き1杯ずつ入れていきますので、「とても美味しいコーヒー」と好評を得ています。是非、一度お越しく下さい。

コーヒーコーナー

月曜日～金曜日 開店14時 閉店17時

AJU車いすセンター

AJU車いすセンターは、昭和50年3月「愛知県重度障害者の生活をよくする会」と「愛の実行運動」の協力により、“人はみな兄弟”の精神に基づき設立されました。障害をもった仲間が、障害によって助けが必要となった方を助ける福祉団体です。福祉制度が利用できない方に車いすの無料貸出をおこなって30年になります。双子の長寿者で皆さんもよくご存知のあの、きん

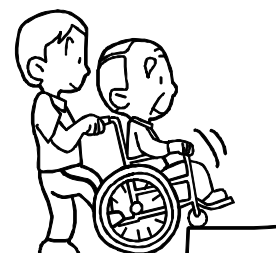


さん・ぎんさんもご利用されたことがあります。年間約8,000件の福祉機器の貸出をしており、そのうちの14パーセントにあたる1,200件ほどは昭和区の方にお使いいただいております。地域の身近な社会資源としてご利用いただいております。必要なおときにはいつでもご利用ください。

「車いすなど福祉機器の無料貸出」は次ページをご参考ください。

福祉実践教室

1981年から車いす使用者や視覚障害者など当事者本人が講師となり、地元の学校はもとより愛知県下の小・中学校を中心に体験教室を行って



います。今までに延べ100万人以上の方に、車いすの使用方法など当事者の視点から伝えて  
います。

くるま ぶくしき き むりようかしだし  
車いすなど福祉機器の無料貸出

くるま ひつよう かた ひつよう きかん むりよう かしだし  
車いすなどが必要な方に必要な期間、無料で貸出しています。

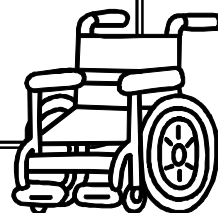
うけ づけ げつようび どうようび じ じ にち しゅくじつ かしだし おこな  
受 付：月曜日～土曜日の9時から17時です。(日・祝日も貸出を行いますので、  
ご相談ください。)

たいしょうしゃ かいごほけん しょうがいしゃせいど かくしゅせいど てつづ ちゅう ぶく りよう かた  
対象者：介護保険や障害者制度などの各種制度が、手続き中も含め利用できない方。

かしだしきかん げつ えんちょう かのう そうだん  
貸出期間：1ヶ月(延長も可能です。ご相談ください。)

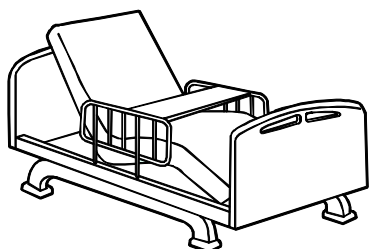
かしだし へんきゃく くるま らいしよ  
貸出・返却は、車いすセンターへご来所ください。

くるま ぶくしき き むりようかしだしじぎょう しょう ぶくしようにく みなさま  
車いすなど福祉機器の無料貸出事業で使用している福祉用具は、すべて皆様から  
寄付していただいたものです。



ぶくしようにぐたいよじぎょう  
福祉用具貸与事業

AJU自立の家では、これまでの無料貸し出し事業での経験  
を活かし、介護保険制度において福祉用具のレンタル事業を行っ  
ています。無料貸出事業や福祉用具のリサイクル相談事業など  
のネットワークを活用し、一人でも多くの方に車いすを使用して  
屋外に出ただき、出来る限り住み慣れた地域で過ごすことが  
できればと思い活動しています。

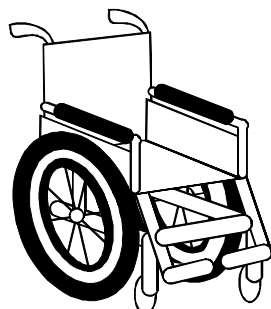


しょうがいしゃしえんじぎょう  
アジア障害者支援事業

ひろ ちく おく かつどう はしら しょうがいしゃ いくせい  
広くアジア地区において、贈る活動を柱とし、障害者リーダーの育成、  
しょうがいしゃうんどう はってん にほんかいぎ たいへいよう きょうどう  
障害者運動の発展をDPI日本会議とDPIアジア太平洋ブロックと協  
おこな  
同  
し行っています。

2002年～2003年には、アフガニスタンに車いす400余台を贈りました。  
その後は、ラオス、カンボジアにも支援しました。スマトラ沖地震の際には、  
なんぶ だい くるま おく こんご かくこく しえん いきなが  
タイ南部へ160台の車いすを贈りました。今後もアジア各国への支援を息長  
く、出来る範囲で活動していこうと思っています。

IT'S GOOD!



仲間たちのこえ - 今回ご紹介するのは、ピア名古屋のまさこさんです -

## みんなのおしゃべりがとても楽しい

小学校の五年と六年の時、男の子にいじめられた。学校を長く休んだ。先生と両親が話し合った。もういじめはないからと、学校に行くようになった。いじめはなくなった。高校は授業に付いていけず、友達はいなかった。弁当はいつも一人ぼっちだった。楽しいことは何もなかった。一年で学校を辞めた。家に閉じこもっていた。家族と時々外出すること以外、出ることはなかった。テレビとゲームが唯一の友達。寂しかった。友達がほしかった。三年間そんな生活が続いた。

ピア名古屋開所の記事をお母さんが見た。さっそく役所に聞いて、通所することになった。ピア名古屋で、友達がたくさんできた。話がいっぱいできるようになった。みんなのおしゃべりがとても楽しいことを初めて知った。

ぴあの仕事は、ぶどうの世話とワインづくり。剪定から袋掛け、ワインの瓶詰めからラベル貼り。発送の仕方。全部覚えた。仕事も楽しい。

ぴあに来て、みんなで旅行に行った。鳥羽へ行った。みんなで水族館に行った。家族以外のひとと初めて旅行をした。滅茶苦茶楽しかった。またぴあの仲間と行きたい。

今年もど真ん中祭りで踊る。ぴあの仲間たちと一緒に踊れる。衣装もかっこいい。夏が楽しい。これから仕事いっぱいして、給与もたくさんほしい。

出典 「人まかせの人生やめた」二〇〇六年十月 風媒社

今後さまざまな形でみなさんの疑問の聲に答えていきます。  
電話、ファックス、メールなどで、ご意見、ご要望をお寄せ下さい。

社会福祉法人 A J U 自立の家

常務理事

施設準備室

山田昭義

鬼頭義徳、小山秀隆

名古屋市昭和区恵方町 2 - 15

TEL 841-5554

FAX 841-2221

info@aju-cil.com

おまち  
してます

